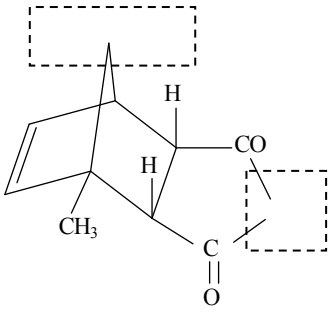
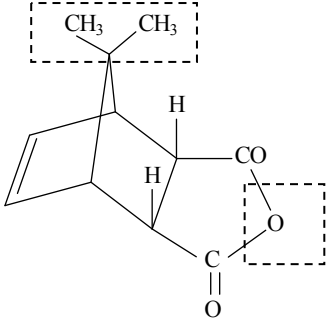
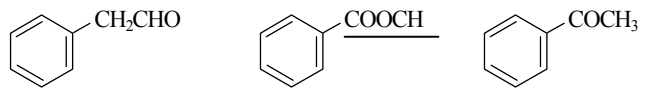
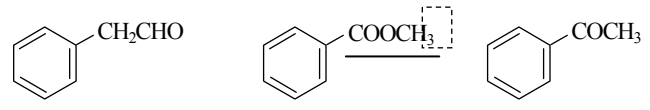
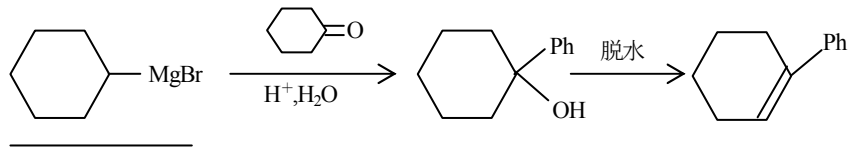
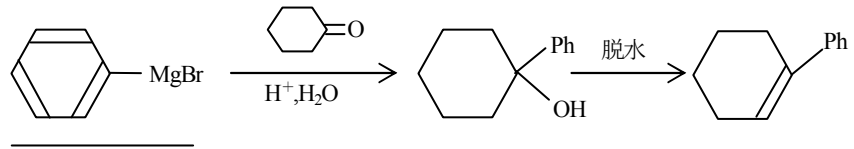


ページ	訂正箇所	訂正内容		掲載日
		誤	正	
P. 20	[No. 31] 選択肢 4	4 	4 	2016/02/17
P. 30	[No. 46] 選択肢 3	3 $\text{CH}_2-\overset{\text{CH}_3}{\text{C}}=\text{CH}-\text{CH}_2-\text{Br}$	3 $\text{CH}_3-\overset{\text{CH}_3}{\text{C}}=\text{CH}-\text{CH}_2-\text{Br}$	2016/02/17
P. 42	[No. 62] 選択肢 2	2 	2 	2016/02/17
P. 62	[No. 39] 解説肢ア	シクロヘキサン立体配座は、いす形のみであるので誤り。	シクロヘキサンのいす形、舟形の立体配座のうち、いす形の方が安定である。	2016/02/17
P. 62	[No. 40] 解説文 1行目	<u>N</u> はよい求核剤,	<u>CN</u> (シアノ基)は安定に存在できるカルボアニオンであり, よい求核剤,	2016/02/17
P. 62	[No. 41] 4行目	グリニヤール試薬とシクロヘキサノンとを反応させて加水分解すると、第3級アルコールが生成し、これを脱水すると、以下の化合物が得られる。 	グリニヤール試薬とシクロヘキサノンとを反応させて加水分解すると、第3級アルコールが生成し、これを脱水すると、以下の化合物が得られる。 	2016/02/17

P. 63	[No. 44] 解説文 ①.	<p>[No. 44] 〈アルコール誘導体〉 正解 4</p> <p>㉞ × ホルムアルデヒドは酸性を示さない。</p> <p>㉟ × ギ酸は弱酸性を示す。</p> <p>㊱ × アセトアルデヒドで水に溶けやすいが酸性を示さない。</p> <p>㊲ ○ 酢酸である。</p> <p>㊳ × $\begin{array}{c} \text{CH}_3 \\ \diagdown \\ \text{CHOH} \\ \diagup \\ \text{CH}_3 \end{array} \xrightarrow{\text{酸化}} \begin{array}{c} \text{CH}_3 \\ \diagdown \\ \text{CH}_3\text{=O} \\ \diagup \\ \text{CH}_3 \end{array}$</p> <p>還元性なしで不適當である。 よって、正解は肢4である。</p>	<p>[No. 44] 〈アルコール誘導体〉 正解 2</p> <p>㉞ × ホルムアルデヒドは酸性を示さない。</p> <p>㉟ ○ <u>ギ酸であり、両性質①&②を示す。</u></p> <p>㊱ × アセトアルデヒドで水に溶けやすいが酸性を示さない。</p> <p>㊲ × <u>アルデヒド基をもたず還元性は示さない。</u></p> <p>㊳ × $\begin{array}{c} \text{CH}_3 \\ \diagdown \\ \text{CHOH} \\ \diagup \\ \text{CH}_3 \end{array} \xrightarrow{\text{酸化}} \begin{array}{c} \text{CH}_3 \\ \diagdown \\ \text{CH}_3\text{=O} \\ \diagup \\ \text{CH}_3 \end{array}$</p> <p>還元性なしで不適當である。</p> <p>よって、正解は肢2である。</p> <p>※講義では、講師が肢2が正解として講義を行っており、テキストの記載と齟齬がありますが、本問は、講師の説明が正しいものであり、テキストの記載のほうが誤りとなります。</p>	2016/12/16
P. 67	[No. 55] 解説文 5行目	<p>なお、ベンズアルデヒドに水酸化カリウムを加え、熱すると<u>ベンズアルデヒド</u>と<u>安息香酸</u>が生じる。</p>	<p>なお、ベンズアルデヒドに水酸化カリウムを加え、熱すると<u>ベンジルアルコール</u>と<u>安息香酸カリウム</u>を生じる</p>	2016/02/17
P. 69	[No. 61] 解説文 4行目	<p>δ=2付近の6重線は、<u>隣接する炭素に合計5つの水素を持つことから</u>、<u>CH₃-CH₂-CH₂-の真ん中の</u>メチレン基と推定される。</p>	<p>δ=2付近の6重線は、<u>CH₃-CH₂-CH₂-の真ん中のメチレン基と推定される。</u></p>	2016/02/17

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/kaitei>)に掲載された日付です。